

# HSK

# わたち

—全国筋無力症友の会道支部—ニュース—

わたち No. 75

昭和48年1月13日

第3種郵便物認可

HSK 通巻224号

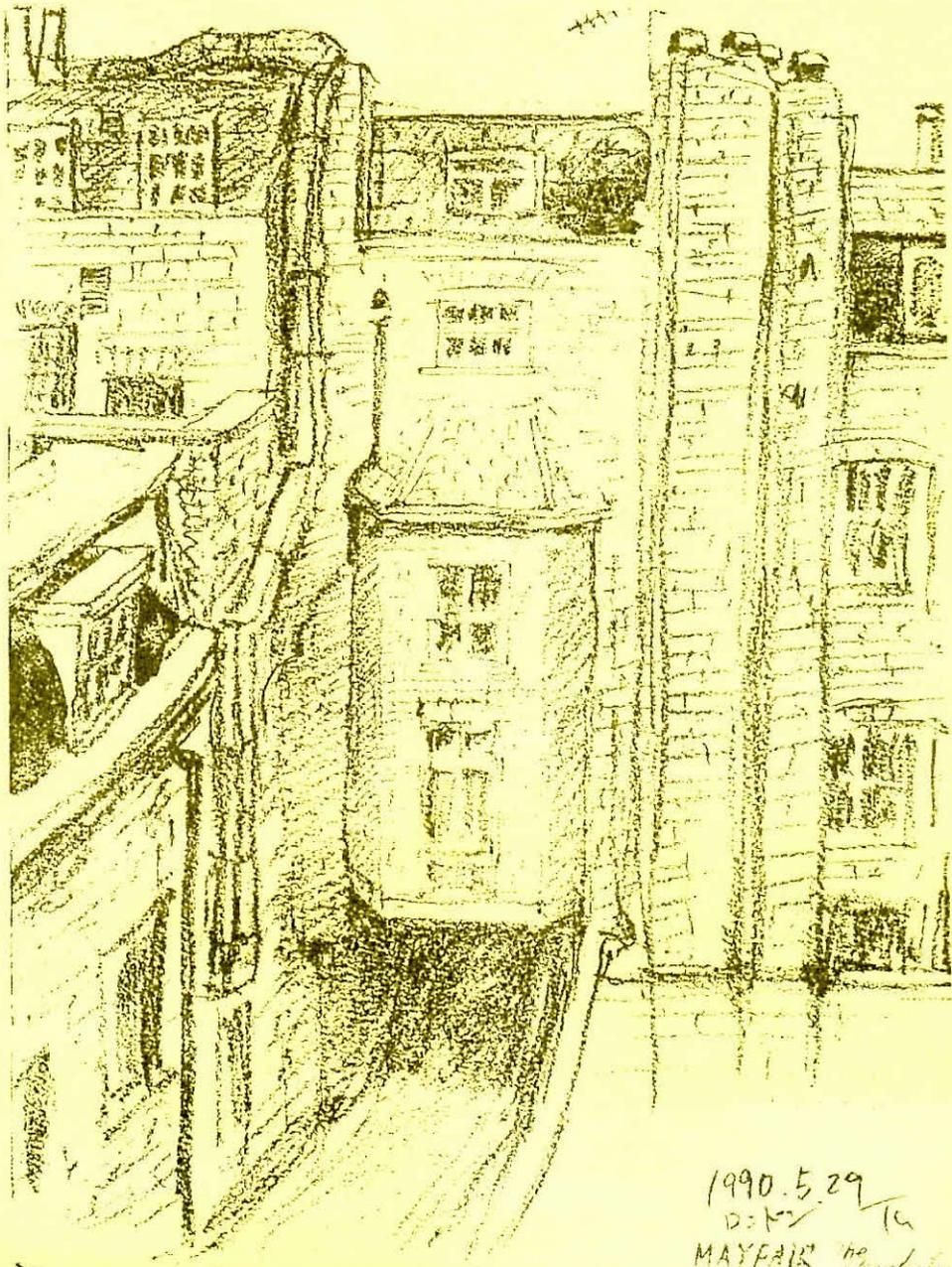
平成2年12月10日発行

毎月10日発行 (1部50円)

編集 全国筋無力症友の会北海道支部

発行 北海道身体障害者団体

定期刊行物協会



1990.5.29  
D: MZ Tu  
MAYFAIR Co. Washita

## ○ 研ぎ物承りますコーナー開設

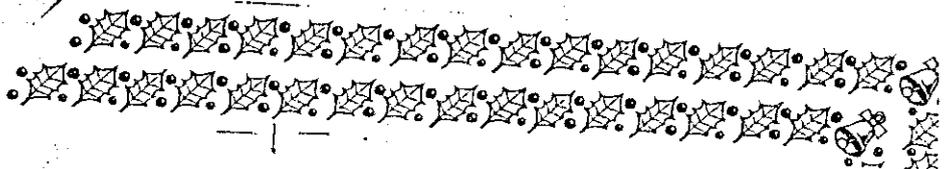
JPCの国会請願の署名、募金運動の中で思いついたのですが、ご協力をいただく事が大変むずかしいので、自分の特技を生かし、庖丁・鋏を研いであげて、その研ぎ賃を署名と募金にしていいただく事にしました。これは大変好評でして、どなたに頼んでも厭な顔をされずに済みます。

● 現在の土地に移り住んでから5年目になりますか次第に理解を深めてもらえるようになりました。

先日、市の消費者生活展が開かれるに当たり、依頼を受けて“研ぎ物コーナー”を開設しました。折よくJPCの署名、募金が始まっていた事もあり、研ぎ賃を募金として署名をしていただきました。大盛況で2日間の開催では研ぎきれず、家に持ち帰って夜業・早朝の作業で切り抜けました。

● また、春の難病連チャリテーバザーでも“研ぎ物コーナー”を開き、本職の新堀さんの応援を得て、大変好評を得ました。(本人の口から言うのはおかしいけれど)

この春のチャリテーバザーが終わった時点で、“研ぎ物コーナー”を常設して筋無力症友の会の資金づくりにしたらどうか...と  
いろいろ方法を考えた結果、難病センターの事務職員の協力を  
いただいて、いつでも研ぎ物の依頼を受けつけてもらう事にな  
りました。



この方法は現在軌道に乗ってスムーズに運んでおります。唯一注文が少ない事が難点になっております。この機会に会員の皆さんに知っていただき、研ぎ物コーナーの利用拡大を願っております。

特別な物を除き、庖丁も鉄も 1丁300円均一です。研ぎ賃は金額筋無力症<sup>友の会</sup>の運営資金になります。ご協力とご利用の程をお願いします。 (猪口)

○ 早い物で今年も残り少なくなりましたが、皆様いかがお過ごしですか。

今年は暖冬で私ども病人には嬉しいですね。でもいつ本格的な冬がやって来るかわかりません。風邪には気をつけましょうね。

この頃、会員の中でMGのほかに糖尿病、白内障、肝臓病、心臓病と予病も多くなっております。

入院中の人もいます。お大事に。1つの病気でも大変なのは、薬の副作用かしら？ (東谷)



# みんなのひろば

## ○ 秋を楽しみました

中道和子



今年秋の訪れが遅いので 木々の色づきもおくれているようです。

9月9日の難病連の「百万本のバラコンサート」の日も、夏を思わせる日差しの強い日でした。

久しぶりの仲間との集い。おしゃべりをし乍ら目は色とりどりのバラを。耳には百万本のバラのハーモニーを。話題の中心は林麗子さん。会う度にお元気になられて、以前は集会に出ても横になっていたり、時には周りを慌てさせたりしたのがうそみたいわ…と。今ではいつも附添って下さったお母さんを助けて主婦業をしているのよ…と。ニコニコと話されて、皆でよかった、よかったと…。

よかったと言えは鎌田藤子さんもお元気なんですよ。10月10日に「ぶどう狩り」で鎌田さんち(家)に集まりました。昨年のこの時期は入院中だった鎌田さんも、今年は甲斐がいしくサービスをして下さったのです。

ぶどう狩りにいらした方はご存じでしょうか、立派なぶどう  
棚、見事なぶどうの房が夥しくぶら下がっているのです。ご主人  
は事もなげにおっしゃるけれど、丹精されているんです。毎日  
出勤前に毛虫を手で取って500匹にもなったかな？と。無農薬  
だから大変な手間がかかります。その分甘くてとてもおいしい  
ですよ。(註: 無農薬有機栽培の作物は栄養面でも抜群にすぐ  
れていると某研究者が言っております) まだ参加されていない  
方は来年は是非。面白いですよ。棚の下で袋を広げて、またた  
く間にいっぱいになって…。食べ放題です。そして採りたて  
のぶどうを持ちきれない程戴いて帰り、ジャムを作りました。

私も発病から四半世紀も過ぎたこの1,2年はやっと国内変動  
なく安定して、歩行困難も殆んど改善しました。そうになると何  
をしても何を見ても心優しいんですね。やっと紅葉し始めた芸  
術の森を散策して「ロダン展」を見たり。「世界のガラス展」  
を見に小樽へ。ついでに運河の街を見物、おいしい物を食べた  
りと、人並にいろんな秋を体験出来ました。「食欲の秋」だけ  
は控え目にしないと後がこわいですが…。

ななかまどが色づきはじまりましたね。歓迎できない冬が来ま  
す。でも、こんな句を思い出しました。

冬憶<sup>おも</sup>うまじ いま紅<sup>か</sup>く ななかまど。



○ 鎌田さんの油絵 見事！道展入選

副支部長の鎌田さんが多忙な勤務と奥さんの看病・家事の合間を割いて、150号の大作油絵を道展に出品されました。

10月のぶどう狩りの折に完成に近づいた大作を見せて貰いましたが、昨年よりも（昨年も見事入選）更に大きく、また木葉一枚にも心のこもった力作に素人眼にも著しい進境をうかがい知ることが出来ました。

果せるかな、この度の道展でも見事入選の栄冠を勝ちとりました。お目出とうございます。会員の皆さんと共に喜び申しあげたいと思います。

鎌田さんの絵を見せていただいた時“この苛酷なまでの忙しさの中で、この様な大作を”と敬服と驚きを禁じ得ませんでした。或る画家が“人の心を打つ作品を描く時には、断食をしたり、山中にこもるなど、人間の極限に近いところまで心身を痛め尽して作り上げる”ものであると言っていたのを思い出します。逆説的に言えば鎌田さんの苛酷なまでの忙しさ、心配事が大作入選の原動力になったのかも？

益々のご発展をお祈り申し上げます。



○ 伊藤かすみさんが「個展」を開きます

全国筋無力症友の会北海道支部創立準備期から昨年まで十数年間、支部の事務・雑用を一身に引き受けて、懸命に支部を育てて下さった伊藤かすみさん。昨年からはやっと友の会の忙しさから開放されて、今念願の「絵の制作」に没頭されております。絵の教室も開いて居られます。

今までの「わたち」の表紙や挿画の殆んどが かすみさんの作品でしたので会員の皆さんもその作品のすばらしさはお存じの事と思います。



たんぽぽの咲くころ 6F

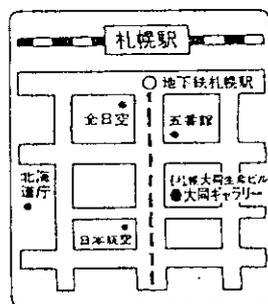
## 伊藤かすみ個展

1990.12.10月~15(土)  
10:00AM~6:00PM

大同ギャラリー 3F

札幌市中央区北3条西3丁目  
TEL (011)241-8223

\*ビル角の円筒階段よりお入り下さい。



### 伊藤かすみ

アトリエ/札幌市西区八軒9条西10丁目9-9ハウスK  
自宅/札幌市中央区南27条西8丁目1-30

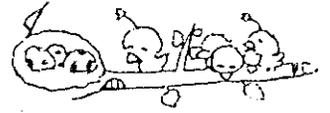
☎641-0019

☎531-2760



反の会事務局からの

お知らせ



## ○ 会費について

会費の額が今年度から600円増額になり3600円となっております。従来は3000円だったのですが長年この額で運営して来ましたので、その間に諸物価の高騰や活動の拡大等で運営が若しくなりました。3年経前から全国本部で会費増額の提案がなされ、慎重に検討がなされた結果、本部・支部ともに300円を増額して本部2100円、支部1500円計3600円に決定されました。

たまたま、この決定(全国総会)が支部総会終了後でしたので、会員の皆さんには“わだち”によって会費増額のお知らせをしたところですが、この事が徹底されず、送金額の間違いやお問い合わせがあったりしたために、ここに改めてご説明を申しあげら次第です。

今年度分会費未納の方は至急お送り下さるようお願いいたします。

1990年度賛助会員になつて頂きました。

(敬称略)

平成2年12月現在



賛助会費は一口1000円

永井よしの 2000円  
 鎌田毅 1000円  
 猪口トヨエ 1000円  
 宇野芳子 2000円  
 宇野拓子 2000円  
 上見 1000円  
 東谷与三 1000円  
 玉井一久 1000円  
 前田恭子 1000円  
 竹村秀雄 2000円  
 但馬和子 2000円  
 白川チズ子 1000円  
 山本政子 1000円

俣野貞子 3000円  
 柴田悦子 1000円  
 中山 1000円  
 大良信雄 1000円  
 山田実 1000円  
 日蔭由紀子 1000円  
 秋葉みどり 1000円  
 成田アキ 1000円  
 南雪子 1000円  
 筑前明子 1000円  
 渡辺セツ子 1000円

友の会の全額収入になります。

1990年度難病連協力会員になつて

頂きました。敬称略 半額友の会に還元されます。

庄子久子 4000円  
 館山ミツ 2000円  
 白川チズ子 2000円  
 太田柳子 10000円  
 宮下美枝子 2000円  
 村本ミヤ 2000円

筑前浩平 2000円  
 秋葉みどり 2000円  
 東谷美智子 2000円  
 中道和子 2000円  
 佐藤静江 2000円  
 鍵政道子 2000円



○ 新会員のつどいは——3月上旬ころに——

“わだち”の発行も今年度第3回目となり、次回は支部総会開催案内とする来々4月頃になります。新会員のつどい開催前に“わだち”を発行する事がないので、时期的に少し早すぎる感がありますが、この号によってお知らせします。

現時点で一応3月上旬開催を予定しております。新会員の方には期日が近づきましたら個々にご案内を差しあげます。

新会員のつどいについて、希望、ご意見などございましたらどんな些細なことでも結構ですからご一報ください。

寄付して頂きました。

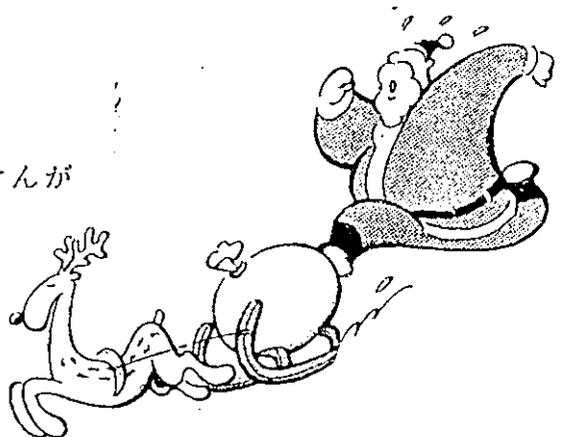
(敬称略)



庄子久子	2000円	成田庄次	1260円
中道和子	1400	秋葉みどり	400
宇留間裕美子	120	猪口英武	1500
鈴木淳子	450	工藤峰子	1900
玉井よしえ	400	東谷美智子	2185

つけおとしが

ありましたら申訳ありませんが  
ご連絡下さい。



<緊急情報>

筋無力症の最近の治療法に焦点をあてたラジオ放送の情報を入手しましたのでお知らせします。

12月16日(日) 午前6:45 ~ 7:00

札幌ラジオ放送(STV)

講師: 北里大学東病院神経内科

助教授 斉藤豊和氏

クリスマス



— 編 集 後 記 —

○今年最後の「わだち」発行となりました。

役員も体調をくずしている人が多く、今回も支部長と2人の編集になり、ページも少なくなり申し訳なく思っています。

(東谷)

○降らないふらないと騒いでいた(スキー関係者)雪がとうとう降ってしまいました。足もとを気にし乍らバス停へ。普段より時間がかかり、遅刻して辿りつき早速作業にかかりました。

今冬も体調を崩さず元気に過しましょう。

(中道)

○12月も中ばを過ぎました。皆様も身体に気を付けて、長い年をお迎え下さい。

(鈴木)

○しばらく東谷さんと2人きりで仕事をする日が続きましたが、今日は印刷と製本発送の日とあって、久しぶりに賑やかに楽しく仕事ができました。部屋が明るさを取り戻し、全身に力が入るような感じがします。

来年になると私も古稀を迎えます。悪にこれからの余命を数える心境になりました。友の会が本当に会員自身の会として発展する事を願って止みません。新人のご協力、ご支援の必要性を痛感して居ります。

(楯口)

---

編集人／全国筋無力症友の会北海道支部

〒064 札幌市中央区南4条西10丁目  
北海道難病センター内 TEL(011)512-3233

発行人／北海道身体障害者団体定期刊行物協会  
札幌市北区北13条西1丁目 神原義郎

昭和48年1月13日第3種郵便物認可 HSK通巻224号 1部50円  
わだちNo.75 平成2年12月10日発行(毎月1回10日発行)

---